

## Enigma FirePlusとGROM/MSX125 (2016LEDヘッドライトモデル)の接続方法 ブルートゥース版

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なGROM/MSX125の整備知識が必要です。  
 ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側にECUが有ります。  
 まず、シートを外し、ガソリタンクサイドカバー（左側）を取り外します。  
 その後シートサイドカバーを取り外すとECUが斜めにゴムマウントされています。  
 ECUに繋がっている33ピンカプラーを外し配線を加工してEnigma FirePlusを割り込みさせて下さい。  
 Enigma FirePlusは近くに水に濡れないよう取り付けてください。  
 (2015以前 プロジェクターヘッドライトモデルとの接続につきましては、専用のマニュアルをご覧ください)

カプラー側の配線にEnigma FirePlus配線を点火線、インジェクター線及び、O2センサー線を除き**割り込み接続**します。(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

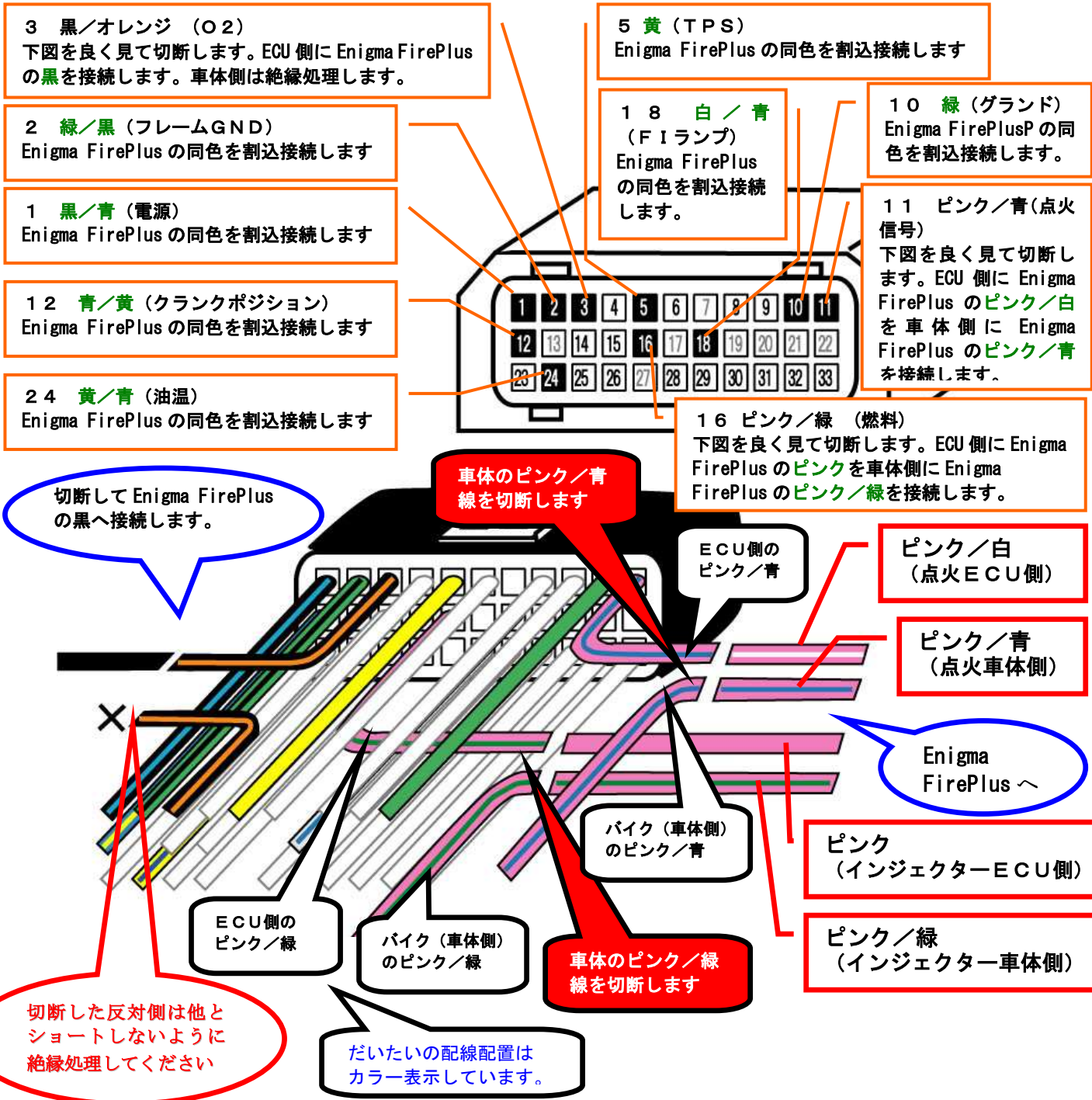
**割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く**

**Enigma FirePlusの動作に問題が起こります。信頼性向上のため直接ハンダ付けする事をお勧めします。**

RTFの末尾にWが付かないFBD-330RTFは2015以前のプロジェクターヘッドライトのグロム専用です。2016以降のLEDヘッドライトのグロムでご使用になるには、1か所の配線変更が必要です。FBD-330RTFW(Wが付いたもの)は2016以降のLEDヘッドライトモデルと2015以前のプロジェクターヘッドライトのグロムの両方に使用可能です。RTFWタイプをお使いの方は、ECUに繋がっているカプラーを外し、Enigma FirePlus RTFWから出ているカプラーをECUと車体側に接続してください。「カチッ」とロック音がすることを確認してください。

- 基本的にEnigma FirePlusから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。  
 Enigma FirePlusから接続する配線は全部で12本です。  
**ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。**  
**白線はピットレーンリミッタスイッチ用なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。**
- ※ ECUの11番端子(ピンク/青)へ接続されている線(点火コイルへの信号)を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にピンク/青線を接続、ECU側にピンク/白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの16番端子(ピンク/緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、Enigma FirePlusからの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9番端子と10番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい
- ※ ECUの3番端子(黒/オレンジ)へ接続されている線(O2センサーからの信号)を切断して、Enigma FirePlusの黒線とECU側を接続してください。  
 切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。
- ※ ボディアース(フレームGND)へ接続する緑/黒線は、バッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECUの2番端子(緑/黒線)へ接続してください。ECUの9番、10番端子(緑線)には接続しないでください。
- ※ カプラーオンタイプで旧型のFBD-330RTFの場合、Enigma FirePlusから出ている「白/青」線をECUの**22番端子から18番端子へ接続し直してください。**FBD-330RTFWの場合配線変更は必要ありません。
- ※ **本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。**

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、18、24の10箇所です。上図で良くご確認下さい
- Enigma FirePlus から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。使用方法はこのマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。Enigma FirePlus はクランク1回転に1回、5Vを出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで Enigma FirePlus 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。

■ PC用 Enigma FirePlus 専用ソフトは下記当社ホームページより無料でダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※GROM/MSX125 Enigma FirePlus 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用のFirePlus ソフト(アプリ)や GROM 用の点火機能の無い ENIGMA 専用のソフト(アプリ)は接続できません。FirePlus 専用のソフト(アプリ)には EASY モードと PRO モードの 2 種類あります。PRO モードは点火マップがご自身で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlus が初めての方はノーマル ECU の点火時期を進角/遅角できる、EASY モードをお使いください。

### **ピットインリミッタースイッチの設置**

Enigma FirePlus から出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。

ピットインリミッターは外部スイッチ ON の時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電/OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意下さい。

設置が終わったら Enigma FirePlus の白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違っただけでプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

■ ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。